

令和6年10月吉日
(2024年)

保護者の皆様へ

吹田市立山手小学校
校長 佐々木 康雄

令和6年度 全国学力・学習状況調査の分析について

朝夕めっきり寒くなりましたが、保護者の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。また、平素は、本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年度6年生を対象として「令和6年度全国学力・学習状況調査」を実施し、8月に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語、算数に限られ、測定されたものは学力の一部であって、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

1. 教科に関する調査の分析

●国語《概要》

児童の平均正答率は全国値を上回っており、多くの児童に基礎的・基本的な国語に関する知識や技能が身につけていると考えられる。しかし、1つの問題で全国値を下回るものもあり、課題があると考えられる。

●国語《各領域における成果と課題》

話すこと・聞くこと

・6領域の中では、最も平均正答率が低かったが、どの問題の平均正答率も、全国値を上回っている。

書くこと

・「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確することができるかどうかをみる」問題は、全国値を大きく上回っている。

読むこと

・「登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる」問題は、全国値を大きく上回っている。しかし、「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる」問題は、全国値をやや下回っている。

言葉の特徴や使い方に関する事項

・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」問題は、2つとも全国値を大きく上回っている。

情報の扱い方に関する事項

- ・「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる」問題は、全国値を大きく上回っている。

我が国の言語文化に関する事項

- ・「日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる」問題は、全国値をほぼ同じである。

☆国語科における成果と今後の改善点について

今回の調査の結果は、全国値を上回るものが多く、良好な結果であった。その中でも、特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、本校の数値は高かった。これは、昨年度までの3年間、国語科の研究を進めてきた山手小学校の大きな成果であると考えられる。授業の中で、児童一人ひとりが自分の考えを自分の言葉や表現で書き表す活動を重視してきた結果だと判断できる。

しかし、全国値を上回っているものの、全体的な正答率が低い問題がいくつかあり、その点が課題と考えられる。

今回の調査の結果から、「読むこと」について、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題がみられる。そうした力を育成するためにも、授業の中で、物語を読んで心に残ったところやその理由を一人ひとりが書く活動や書いたことをもとに交流する活動を増やしていけるように取り組んでいく。

●算数《概要》

児童の平均正答率は、全ての問題において全国値を上回っている。多くの児童に基礎的・基本的な算数に関する知識や技能が身につけていると考えられる。しかし、全国値を上回っているが、正答率が低い問題もあり、課題があると考えられる。

●算数《各領域における成果と課題》

数と計算

- ・「問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる」問題、「計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」問題、「除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる」問題と「除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる」問題、「示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる」問題は、全国値を大きく上回っている。

図形

- ・図形領域は全ての問題において全国値を大きく上回っている。また他の領域と比べ正答率が高くなっている。しかし、「球の直径の長さ立方体の一辺の長さの関係性を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる」問題の無回答率が高いことが課題である。

<裏面に続く>

変化と関係

- ・変化と関係領域は全ての問題において全国値を大きく上回っている。また、図形領域に次いで、正答率が高くなっている。

データの活用

- ・「円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる」問題、「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件にあてはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる」問題は、全国値を大きく上回っている。

☆算数科における成果と今後の改善点について

今回の調査の結果、全ての問題で全国値を上回っており、基礎的・基本的な知識や技能は身につけていると言える。これは、本校が取り組んできた算数科における少人数指導や月に1～2回放課後に行っている学力保障の日の成果と考えられる。

しかし、国語科と同様に全国値を上回っているものの、全体的な正答率が低い問題がいくつかある点や無回答率の高い問題がいくつかある点が課題と考えられる。

今回の調査の結果から、授業中で、自分の力で問題を的確に捉え、自分の考えを言葉や式で表現したり説明したりする活動に積極的に取り組んでいく。

2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【生活環境・学習環境について】(〈どちらかといえば、当てはまる〉を含む)

〈全国値を上回っている項目〉

- ・「朝食を毎日食べていますか」
- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」
- ・「自分には、よいところがあると思いますか」
- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」
- ・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」
- ・「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」
- ・「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」
- ・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」
- ・「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」

＜全国値を下回っている項目＞

- ・「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」
- ・「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」
- ・「健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか」
- ・「将来の夢や目標を持っていますか」
- ・「人が困っているときは、進んで助けていますか」
- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」
- ・「友達関係に満足していますか」
- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」
- ・「学習した内容について、分かった点や、よ分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」
- ・「授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」

【教科・学習について】(＜どちらかといえば、当てはまる＞を含む)

＜全国値を上回っている項目＞

- ・「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」
- ・「国語の勉強は大切だと思いますか」
- ・「国語の授業の内容はよく分かりますか」
- ・「国語の授業で違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか」
- ・「国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか」
- ・「算数の勉強は好きですか」
- ・「算数の勉強は大切だと思いますか」
- ・「算数の授業の内容はよく分かりますか」
- ・「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
- ・「算数の問題の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」
- ・「算数の問題の解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか」
- ・「英語の勉強は大切だと思いますか」
- ・「今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」

＜全国値を下回っている項目＞

- ・「国語の勉強は好きですか」
- ・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
- ・「国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり、結び付け

- たりしながら、伝える内容を考えていますか」
- ・「国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり、詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか」
 - ・「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」
 - ・「算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか」
 - ・「理科の勉強は好きですか」
 - ・「自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり、問題を見出したりすることがありますか」
 - ・「理科の授業では、自分の予想をもとに、観察や実験の計画を立てていますか」
 - ・「英語の勉強は好きですか」
 - ・「英語の授業の内容はよく分かりますか」
 - ・「今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」

3. 成果と今後の取り組み

今回の学力状況調査は、全国値を上回り、良好な結果でした。これは、児童の日々の積み重ねの成果であることは当然ですが、保護者の皆様の支えがあつてこそだと考えております。また、本校の教育目標でもある「自分の思いを自分の言葉で伝える あったかい教室」の取り組み、少人数指導や専科制の導入、タブレット等の ICT 機器を使った指導の工夫、授業研究等の成果とも考えております。

今後は、これまでの取り組みを継続して行っていくとともに、学習面では、児童一人ひとりが主体的に自分の考えを書く活動を大切に、それをもとに学級やグループで交流する活動を取り入れる等、協同的な学びとなるような授業づくりに取り組んでいきます。

また、教育活動全体において、児童が持てる力を発揮できるよう安心安全な環境を整え、個々の児童理解に努めます。そして、児童同士が関わり、協力し合う取り組みを増やし、それぞれの良さが発揮できる場面を意識的に作り、自己有用感や自尊感情を育てていきます。

ご家庭におかれましては、引き続き児童に安定した学習環境と健康な生活リズムを作っていただくとともに、社会的事象に関心を持てるよう、新聞やテレビ、インターネットのニュースを一緒に見たり、時事問題を話題にしたり、地域行事やボランティアに参加する等、社会参画の意識を高めていただきますよう、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。